

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	必修科目	1年	
使用教科書	Grove English CommunicationⅠ（文英堂）			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。 また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
		以上の観点をふまえ、 授業での取り組み、定期考査、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。
担当者から	ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。 また多くの支援を活用し、情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養います。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○		○				○		動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 定期考査 小テストや実技テスト 課題やレポート などを元に評価します
4			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
5			自分の興味を述べる表現	○		○				○					
5		科学技術	テクノロジーや科学研究について	○		○				○		テクノロジーに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、テクノロジーについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	テクノロジーに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
6			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
6			研究について述べる表現	○		○				○					
7		環境問題	環境問題や自然について	○		○				○		環境問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
7			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
7			調査について述べる表現	○		○				○					
9	国際社会	社会問題	社会問題や政治経済について	○		○				○		社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
9			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
9			自分の意見を述べる表現	○		○				○					
10		人物	偉人やある分野で活躍する人について	○		○				○		人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
10			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
10			自分の経験を述べる表現	○		○				○					
11		異文化	異文化や多様性について	○		○				○		異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
11			それに関わる語彙や文法	○		○				○					
11			自分の意見を述べる表現	○		○				○					
12	文化教養	スポーツ	スポーツの背景や意義について	○		○				○		スポーツに関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、スポーツについての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	スポーツに対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
12			それに関わる語彙や文法	○		○				○					

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	選択科目	2年	
使用教科書	Grove English Communication Ⅱ（文英堂）			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	教科書の内容を中心にワークシート等を使い、英文を読み、聞き、話し、書き、問いに答えることを通して理解する。 また、それを用いて自分の意見を発表したり、他者と意見交換したりなどする。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
		以上の観点をふまえ、 授業での取り組み、定期考査、小テストや実技テスト、課題やレポートの実施状況などを総合的に評価します。
担当者から	ペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を行い、様々な事柄について英語で理解を深める科目です。積極的に活動に参加するようにしましょう。また情報や考えなどを適切に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力や、それを活用しさらに高める活動を行います。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	自然科学	動物	動物の生態や生息環境について	○		○		○				動物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、動物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	動物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業での取り組み 定期考査 小テストや実技テスト 課題やレポートなどを元に評価します
4			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
5			自分の興味を述べる表現	○		○		○							
5		科学技術	テクノロジーや科学研究について	○		○		○			科学技術に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、科学技術についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	科学技術に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
6			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
6			研究や調査について述べる表現	○		○		○							
7		環境	環境問題や自然について	○			○				○	環境に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、環境についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	環境に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
7			それに関わる語彙や文法	○			○								
7			自分の意見を述べる表現	○			○				○				
9	国際社会	社会問題	政治経済や社会問題について	○			○				○	社会問題に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、社会問題についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	社会問題に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
9			それに関わる語彙や文法	○			○								
9			自分の意見を述べる表現	○			○				○				
10		人物	歴史的偉人やある分野で活躍する人物について	○		○		○				人物に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、人物についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	人物に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
10			それに関わる語彙や文法	○		○		○							
10			自分の経験を述べる表現	○		○		○							
11		異文化	異文化や多様性について	○		○	○					異文化に関する語彙、表現、文法等の理解を深め、聞く読む話す書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、異文化についての情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
11			それに関わる語彙や文法	○		○	○								
11			研究や調査について述べる表現	○		○	○								

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
外国語	論理・表現 I	2	必修科目	1年	
使用教科書	Harmony English Logic and Expression I (いっずな書店)			担当者	

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	教科書の内容を基にしたプリントを中心に授業を進めていくので、授業を大切に理解を深めてください。 自主的に英語を活用する態度を身に着け、実践していきましょう。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 ・授業での取り組み、定期考査、小テスト、パフォーマンステストなどを総合的に評価します。	
担当者から	授業で学んだことを理解し、ペアワーク、グループワークなどで実践して定着させましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	自分や身近な人について	人物紹介	紹介する	○					○		○	自分や身近な人を紹介する表現を理解し、相手の注意を引く表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現している。	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いてテーマに沿って、自分や身近な人を紹介している。また、自分の気持ちや考えを表現しようとしている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
5			注意を引く	○				○			○				
6		好きなものを紹介	要約する				○	○			○	映画や本のあらすじを要約したり、感想や批評を述べたりする表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしている。	自分の活動を振り返りながら、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
7			感想や批評を述べる			○					○	○			
8	日常生活について	道案内をする	提案・依頼する	○	○					○	提案する、依頼する、道順を説明するときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや肝紙などを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明している。	自分の活動を振り返りながら、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明しようとしている。		
9			道を案内する			○	○	○							
10		買い物	描写する	○				○	○			描写する、相槌を打つときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちを表現している。	自分の活動を振り返りながら、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて相槌を打って、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
11			相槌を打つ			○					○	○			
12	したいことについて	行ってみたい場所	希望を述べる	○				○			○	希望を述べる、理由を述べるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちを表現している。	自分の活動を振り返りながら、具体的に希望を述べている。また、理論を一貫させて理由を述べ、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	定期考査 小テスト パフォーマンステスト
1			理由を述べる			○		○				○			
2		友達に相談する	助けを求める			○		○			○	助けを求め、お礼や感謝を伝えるときの表現を理解し、学んだ表現を適切に運用し、考えや気持ちを表現する基本的な技能を身に着けている。	適切な表現を用いて、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちを表現している。	自分の活動を振り返りながら、状況を整理して助けを求めたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	
3			お礼や感謝を伝える	○							○	○			

